

埼玉大学紀要

(教育学部)

第 58 卷 第 2 号

目 次

教育科学

- アメリカ合衆国の大学教育における美術教育の一実態について
—西オレゴン大学のケースから—
..... 小澤基弘 1
- 武道必修化に伴う柔道指導法のあり方について (第1報)
—学習指導要領改訂と保健体育編改善の趣旨や内容を中心に—
..... 野瀬清喜・田中一朗・野瀬英豪 17
- 児童の体格と疾走能力の年次変化
..... 有川秀之・太田 涼・駒崎弘匡・上園竜之介・河野裕一 35
- 集団球技における運動形式の捉え方について
—バスケットボールを事例にして—
..... 松本 真 43
- 「感覚的アプローチ」に基づく跳び箱運動における学習の発展様相に関する研究
—「動く感じ」を中核とした意味生成に着目して—
..... 成家篤史・鈴木直樹・寺坂民明 55
- 観察行動における教師のエクスパティーズの検討
—ボールゲームの観察行動に焦点をあてて—
..... 鈴木直樹・森 博文・菊原伸郎・今村望太郎・成家篤史 71
- 「感じる」ことを学習内容の中核としたハードル走
..... 寺坂民明・塩澤榮一・鈴木直樹 89
- バレーボールのサーブレシーブにおける予測トレーニングに関する予備的研究
..... 古田 久 101
- 教員免許更新制における講習内容に関する調査
..... 山本利一 109
- 小学校の学習内容と中学校技術・家庭科技術分野との関連
..... 白崎 清・山本利一 115

2009

埼玉大学教育学部

学校生活における上履きの変遷とその役割	吉田智美・河村美穂	123
4歳児の園生活での仲間関係の発達に関する研究	松丸英里佳・吉川はる奈	135
モンゴルにおける日本語学習者の現状と課題	ダンザンニャム＝ブレンチメグ・馬場久志	145
中国と日本におけるICTが活用できる学習環境の比較に関する研究	桂 明・野村泰朗	159
保育環境における壁面装飾の意義1 —幼稚園教員・保育士への質問紙調査から—	幡野由理・山根直人・小田倉泉	171
高等学校に対する特別支援学校によるセンター的機能の現状と課題 —埼玉県内の公立高等学校と特別支援学校への質問紙調査を通して—	武居 恵・山中冴子	183
私立幼稚園における「気になる子ども」の保育の困難さに関する調査研究 —自由記述の分析を中心として—	尾崎啓子・吉川はる奈	197

人文・社会科学

新概念 日本語教学法 第三部(2)	竹長吉正	205
カント「観念論論駁」再考 —「定理」の主語の二重性を中心に—	渋谷治美	217
漢唐間の礼制と公的服飾制度に関する研究序説	小林 聡	233
近代日本の芸術音楽とフランス音楽の関わりについての試論 —1920年代の『音楽新潮』フランス音楽特集号を対象に—	神月朋子	249
近代日本における厚地綿布の品質と価格	田村 均	261
天台山の詩歌(其二)～六朝以前(中)	薄井俊二	—

数学・自然科学

空間依存的パラメータを伴う超過程に関する漸近挙動	道工 勇	293
製作題材としてのスターリングエンジンの開発と授業実践	星野孝仁・山本利一・戸田富士夫・針谷安男	309

Journal of Saitama University
(Faculty of Education)
Vol. 58, No. 2 (2009)

— Contents —

Science of Education

On the actual conditions of Art Education in the United States of America — Through the example of Western Oregon University —	Motohiro KOZAWA	1
Initial report on the significance of teaching method of Judo — Associated with newly required subject of Budo at school —	Seiki NOSE, Kazuaki TANAKA, Eigo NOSE	17
A longitudinal study of body mass and sprinting performance for elementary school boys and girls	Hideyuki ARIKAWA, Ryo OHTA, Hiromasa KOMAZAKI, Ryunosuke KAMIZONO, Yuuichi KHONO	35
Consideration on motor form of ball games — A case of basketball —	Shin MATSUMOTO	43
A study on the changing phase of the learning in the vaulting horse unit which introduced “Sensual Approach” — Focusing on generating the meaning based on “a feeling of the movement” —	Atsushi NARIYA, Naoki SUZUKI, Tamiaki TERASAKA	55
An examination of teacher’s expertise in the observation behavior — Through focusing on observing ball games —	Naoki SUZUKI, Hirofumi MORI, Nobuo KIKUHARA, Boutarou IMAMURA, Atsushi NARIYA	71
The hurdles of which the main learning content is “feeling”	Tamiaki TERASAKA, Eiichi SHIOZAWA, Naoki SUZUKI	89
Video-based anticipation skill training on the volleyball reception of serve : A pilot study	Hisashi FURUTA	101
Investigation on training content in Teacher’s License Renewal System	Toshikazu YAMAMOTO	109
Relation between learning content in elementary school and Technology Education in junior high school	Kiyoshi SHIRASAKI, Toshikazu YAMAMOTO	115

continued on inside back cover

The history of the use of indoor shoes in school life	Tomomi YOSHIDA, Miho KAWAMURA	123
Research on developing process related to four-years old child's companion in kindergarten life	Erika MATSUMARU, Haruna YOSHIKAWA	135
Present aspects and problems for Japanese language learners in Mongolia	Danzannyam BURENCHIMEG, Hisashi BABA	145
Comparative studies of Chinese-Japanese ICT based educational environment	Ming GUI, Tairo NOMURA	159
Wall displays in preschool classrooms 1 — A survey of nursery school and kindergarten educators —	Yuri HATANO, Naoto YAMANE, Izumi ODAKURA	171
Special school's function as Special Needs Education Center for regular high schools — Through questionnaire to public regular high schools and special schools in Saitama —	Megumi TAKESUE, Saeko YAMANAKA	183
Surveillance study on difficulties of childcare for “Children with Special Needs” in private kindergartens	Keiko OZAKI, Haruna YOSHIKAWA	197

The Humanities and Social Sciences

Foundation of Japanese language teaching, Part III (2)	Yoshimasa TAKENAGA	205
Eine kleine Wiederüberlegung über Kants Widerlegung des Idealismus. — hauptsächlich um die Doppelheit des Subjekts von dem Lehrsatz —	Haruyoshi SHIBUYA	217
An introduction concerned with the Li 禮 system and the regulations of official dresses in form the Han 漢 to Tang 唐	Satoshi KOBAYASHI	233
A Study on the relationship between the Japanese modern music and the French modern music observed in the special numbers for the French music of <i>Ongaku Shinchō</i> in the nineteen twenties	Tomoko KOZUKI	249
Changing characteristic of the traditional cotton weavings in modern Japan	Hitoshi TAMURA	261
The collection of poems on Tian Tai-Shan II	Shunji USUI	—

Mathematics and Natural Sciences

Comportement asymptote sur une classe de super-processus avec paramètres spatialement dépendants	Isamu DÔKU	293
Development of teaching materials for Stirling engine and teaching practice	Takahito HOSHINO, Toshikazu YAMAMOTO, Fujio TODA, Yasuo HARIGAY	309

埼玉大学紀要（教育学部）投稿規定

（名称及び発行）

- 第1条 埼玉大学紀要（教育学部）と称し、英語名をJournal of Saitama University (Faculty of Education) とする。
- 2 埼玉大学紀要（教育学部）（以下「紀要」と言う）は、埼玉大学教育学部教員（以下「本学部教員」と言う）等の学術研究成果を発表することを目的とし、年2回発行して2号分を以て1巻とする。

（投稿資格）

- 第2条 紀要へ投稿できる者は、原則として本学部教員とする。
- 2 共著の場合は、本学部教員が責任ある立場から研究を行い、執筆したものに限る。
- 3 教育学部研究支援委員会（以下「研究支援委員会」と言う）が必要と認めた場合は、本学部教員以外の投稿を許可することができる。

（論文の掲載の可否）

- 第3条 投稿原稿の内容は未発表のものに限る。
- 2 掲載の可否は、研究支援委員会が決定する。

（経費）

- 第4条 紀要出版に要する経費は、原則として研究支援委員会経費とする。
- 2 カラー印刷など特殊な印刷を要する場合、その印刷経費は原則として投稿者負担とする。
- 3 別刷の経費は投稿者負担とする。

（著作権等）

- 第5条 掲載論文に関する著作権は投稿者（著者）に帰属する。
- 2 本文の一部や図・表・写真等を他の著作物から転載したり、オリジナルを掲載したりする場合、著作権に関わる問題や法令上の手続きは、投稿者があらかじめ処理するものとする。それらについて問題が生じた場合は、その責は投稿者が負うものとする。
- 3 投稿者は、埼玉大学に対して、当該論文等の印刷、電子的記録媒体（CD-ROM、DVD-ROM等）への変換・複製、学内外への配布を原則として許諾するものとする。
- 4 投稿者は、埼玉大学及び埼玉大学が委託する機関等に対して、当該論文等の送信可能化・コンピュータネットワーク等での学内外への公開を原則として許諾するものとする。

附則

この規定は、平成18年6月30日から施行する。

埼玉大学紀要（教育学部）執筆規定

埼玉大学教育学部研究支援委員会

投稿者は「埼玉大学紀要（教育学部）投稿規定」およびこの「執筆規定」の各項に従い、原稿を作成されたい。

【原稿の書式・執筆手段】

原稿は、「和文横書き」「和文縦書き」「欧文横書き」のいずれでもよい。

原稿はワープロソフト等で作成し、A4判用紙（縦位置）を用い、40字×36行で用紙の片面のみにプリントアウトする（フォントサイズは10.5～11 pt）。和文原稿の場合、本文中の漢字・かな文字・記号は全角、数字・アルファベットは半角とする。なお、欧文原稿の場合はすべて半角文字で入力する。

【原稿の長さ】

1編の論文の長さは図表、Summary等を含めて刷り上がり16ページ以内とする。制限ページ数を超過した場合には、1印刷ページあたり¥5,000を投稿者が負担する。

[原稿の構成]

原稿は、表題、著者名、所属または住所、キーワード（5語以内）、本文、摘要等、文献の順にする。和文原稿の場合、最後に欧文タイトル、欧文著者名、summaryを加える。概要Abstractを入れる場合は、著者名とキーワードの間になる。

「注（註）」は本文の末尾（「文献」の前）に付ける。注は論文全体の通し番号とし、章ごとの番号付けとしない。書式は日本語・外国語を問わず横書きの場合、1) 2) 3) …のように、縦書きの場合、①②③…のようにする。なお、脚注は第1ページの所属（住所）だけ付けることができる。

文献の並べ方は、参考順・著者のアルファベット順など、何らかの明瞭な基準によるものとする。

[図表]

図（写真を含む）はすべて挿図 figure とし、そのまま印刷できるよう上質の白紙、方眼紙、トレーシングペーパー等に鮮明に描く。図は1枚ごとに厚手の台紙に貼って提出する。

表は別紙に印刷し、原稿末に付ける。それと同時に、FD等に保存する。作成には表計算ソフト（エクセルなど）を用いるのが好ましい。

図表類は、印刷ページ幅・段幅等を考慮して作成すること。

図表・写真類の挿入希望箇所は、本文原稿の欄外にわかりやすく鉛筆で指定すること。

図表のキャプション（説明）は別紙に印刷し、原稿末につける。原稿の本文中に図表をはめ込むことは厳禁。

[数式と活字型の指定]

数式は2行分以上の行を取り、文字の種類・大小・数字を明確に区別できるように記入する。特殊な活字（ゴシック体・イタリック体・スモールキャピタル・ギリシア文字・ロシア文字等）の指定は、プリントアウトした原稿に指示を鉛筆書きする。その際、ゴシック体には波下線、イタリック体には下線、スモールキャピタルには二重下線を朱書きで指示をする。

[その他]

投稿者は、原稿のプリントアウトしたもの2部の他、原稿のファイル（文書ファイルおよびテキストファイル）を保存したFD、CD-R（W）、DVD-R（W）のいずれかを提出しなければならない。

投稿者は完成原稿を提出しなければならない。著者校正は初校のみで、その場合、誤植の訂正を超える大幅訂正や追加は許されない。大幅な訂正・追加をした場合には超過料金を徴収することになるが、場合によっては当該論文の掲載が次号となる。

(1987年9月29日 作成)

(1998年11月6日一次改訂)

(2006年6月30日二次改訂)

埼玉大学紀要教育学部 第58巻第2号（2009）研究支援委員会

鈴木道也（社会科教育講座）・小澤基弘（美術教育講座）

島田玲子（家政教育講座）・牛江一裕（英語教育講座）

萩生田伸子（教育心理カウンセリング講座）・関 由起子（学校保健学講座）

平成21年9月16日 印刷
平成21年9月30日 発行

編集兼 埼玉大学教育学部
発行 さいたま市桜区下大久保255番地
電話 048-858-3142

印刷 明誠企画株式会社
武蔵村山市榎2-25-5
電話 042-567-6233（代）

埼玉大学紀要（教育学部）掲載申込書

平成 年 月 日

教育学部研究支援委員会 御中

申請責任者 所属
(本学部教員) 氏名 印

埼玉大学紀要（教育学部）投稿規定に基づき、下記の通り埼玉大学紀要（教育学部）への掲載を申請します。投稿者全員は、埼玉大学に対し、投稿論文等の印刷・電子的記録媒体への変換・複製、学内外への配布、コンピュータネットワーク等を通しての学内外への公開を許諾します。

記

題 目	和文	
	欧文	
投稿者 氏名 所属 (全員分)	和文	
	欧文	
別刷希望部数	部 (10部単位・別刷に要する経費は自己負担)	
特殊印刷等 (内容を記載)	<input type="checkbox"/> あり () <input type="checkbox"/> なし (特殊印刷等に要する経費は自己負担)	
掲載希望分野	1. 教育科学 2. 人文・社会科学 3. 数学・自然科学	
原稿媒体	媒体	1. FD・打ち出し原稿 2. CD-R(W)・打ち出し原稿 3. DVD-R(W)・打ち出し原稿 4. その他 ()
	OS	1. Windows 2. Mac 3. その他 ()
	文書形式	1. WORD 2. 一太郎 3. その他 () いずれの場合もテキストファイルを同一媒体中に保存し提出すること

[投稿者チェック欄]

- 著作権に関わる問題は処理済みである。
- 「埼玉大学紀要（教育学部）執筆規定」に従って執筆した。
- 本文の最初の頁に著者全員の「所属」を記載した。
- 「題目」と「投稿者氏名・所属」の和文と欧文を別紙で添付した。
- プリントアウトした原稿を2部提出した。